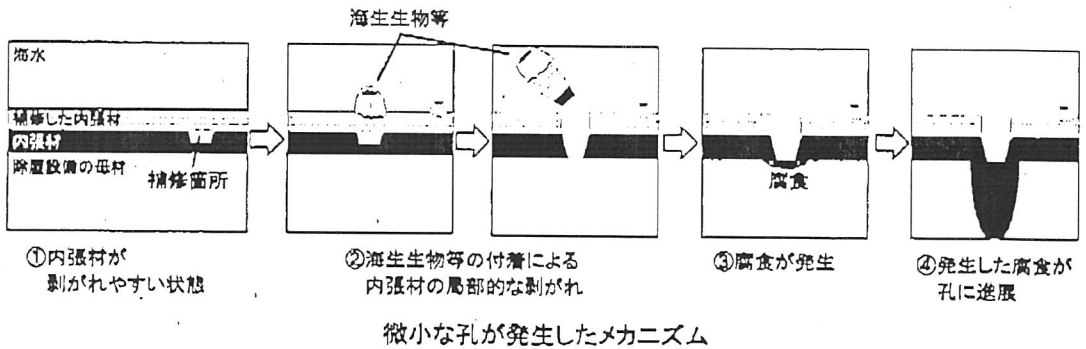
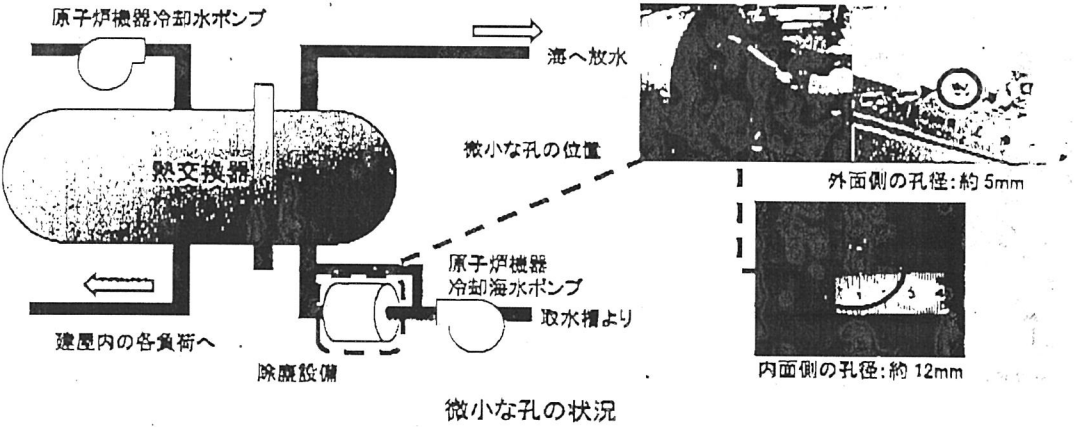


**浜岡原子力発電所4号機 原子炉機器冷却海水系
除塵設備の微小な孔の確認について
(続報:原因調査の結果と今後の対応)**

2023年10月19日

当社は、原子炉機器冷却海水系除塵設備に確認した微小な孔(2023年9月1日お知らせ済)について、原因調査を実施し、今後の対応をまとめたことから、お知らせします。

事象の概要	<p>2023年9月1日14時30分頃、定期検査中の4号機において、当社社員が巡視点検中に、原子炉機器冷却海水系(注1)の熱交換器(B系)の入口配管に設置している除塵設備(B系)(注2)の保温材からの水の滴下を確認しました。その後、当該箇所の保温材を外し、滴下箇所を詳細に確認したところ、15時20分頃、微小な孔を確認しました。</p> <p>除塵設備に微小な孔が認められましたが、原子炉機器冷却海水系の運転状態に異常は確認されておりません。</p>
原因調査の結果	<p>微小な孔が発生した原因は、除塵設備の母材を腐食や摩耗から保護するために被覆している内張材を補修する際、既存の内張材に上塗り補修していたことで、剥がれやすい状態となっており、そこに海生生物等が付着した影響で、内張材が局部的に剥がれ、除塵設備の母材に海水が触れることで腐食が発生し、微小な孔に進展したものと推定しました。</p>
今後の対応	<p>今後は、内張材の補修方法を改善し、定期的な点検で内張材の健全性を確認してまいります。</p>



- 注 1 原子炉機器冷却海水系は、燃料プールや非常用機器等で発生する熱の除去をおこなう原子炉機器冷却水系の熱交換器へ冷却用海水を供給する設備です。
- 注 2 原子炉機器冷却海水系の除塵設備は、原子炉機器冷却海水系に流入するごみ等が熱交換器に流入し、熱交換器性能が低下することを防ぐための設備です。冷却用海水が除塵設備を通過することで、ごみ等が除去されます。

以上